

TRANSFORM

2017. 5. 12

第 56 号

神港学園高等学校

校訓

進取・錬磨・礼節

高

硬式野球部

春季大会の神戸地区大会が、4月2日(日)から開始されました。

1回戦県立神戸鈴蘭台高校に5対2、2回戦神戸市立兵庫商業高校に9対1、決勝戦は育英高校に8対2と順調に勝ち進み優勝しました。

続く県大会は、4月23日(日)の2回戦が初戦となり、神戸村野工業高校に7対3、4月29日(土)の3回戦は、県立伊川谷北高校に8対1と勝ち、5月3日(水)の準々決勝は県立社高校と対戦し、5対15と敗れてしまいました。

今年のチームは、試合を重ねるごとに成長を感じさせてくれる、今までにない力強さをもっています。夏の大会が楽しみです。

【登録選手】3年石橋大樹(大阪市立董中)、井上



翼(守口市立梶中)、菅原元気(太子町立太子西中)、平沢光(相生市立双葉中)、大西泰生(姫路市立灘中)、豊大海(神戸市立渚中)、大内裕介(同星和台中)、光岡賢人(加古川市立加古川中)、岩崎克海(尼崎市立園田東中)、2年海端紅波(姫路市立飾磨西中)、戎佑斗(明石市立魚住中)、通山将隆(同魚住東中)、齋部混人(神戸市立本庄中)、佐々木翔悟(同丸山中)、竹本雄貴(同有野北中)、亀谷侑汰(姫路市立広嶺中)、塩塚陽人(加古川市立加古川中)、山本翔琉(同中部中)、前田武斗(相生市立双葉中)、戸倉伊武希(篠山市立篠山中)

柔道部



全日本ジュニア柔道体重別選手権大会兵庫県予選大会が、5月5日(金・祝)に県立武道館で行われました。

ジュニアとは、15歳から20歳未満までの者が出場することができ、大学2年生までが参加します。そして、世界大会までつながっています。

60kg級で2年頭徳大晴(明石市立望海中)が、優勝して、近畿ジュニア柔道体重別選手権大会に出場することになりました。

本校を卒業して甲南大学に進んだ橋本涼真君(2年生)が、73kg級で優勝し

空手道部

で、同じく近畿大会に出場します。卒業生の活躍も嬉しいものです。

兵庫県空手道選手権大会兼愛媛国体兵庫県予選が、5月7日(日)に県立武道館にて開催されました。

少年男子個人形では、3年喜多凌太郎(西宮市立山口中)が優勝しました。

3位に1年平井孝法(神戸市立玉津中)が、5位に2年尾花和哉(同魚崎中)と2年松木穰(明石市立魚住中)が入賞しました。

喜多、平井の両名は、6月18日(日)に行われる県内選考会に参加し、その選考会で1名が選ばれ、近畿ブロック予選に出場します。

成年男子組手に出場した本校の長谷川裕介先生が軽量級で優勝しました。

ちょっと一言 「祝砲」や「礼砲」といって、大砲を使って空砲が発射される儀式がある。天皇が崩御された時や即位された時、外国からの賓客の歓迎に行われる。これは国際儀礼上行われる軍隊における礼式の一つである。なぜ、このような行為が行われるようになったのか？昔の軍艦の大砲は、筒先から火薬や弾丸をつめていた。再装填するためには、艦内に一度大砲を引き入れる必要があったため、外国の港に入港する際にすべての大砲を発射し、筒先を出した状態のまま交戦する意志のないことを表現していた。これがのちになって、陸上でも祝意や弔意を表すことに使われるようになった。